

令和7年度								委 託 仕 様 書							
委 託 名		めがね橋補修設計等業務委託													
委 託 箇 所		春日部市八丁目地内													
路 河 川 名 称															
事 業 名															
業 務 大 要															
現橋調査業務 N = 一式 橋梁補修設計業務 N = 一式															

案内図

委託箇所

大口橋

めがね橋

倉松公園

幸松小学校

幸松放課後
児童クラブ

浦

プール

幸松川

委託名：めがね橋補修設計等業務委託
委託場所：春日部市八丁目地内

75m

1:1,500

変 更 理 由							
備 考							
地 区	(0001) 県南	労務費補正	-	機械経費(賃料)補正	-		
単価適用年月	(R0707) 令和07年07月						
工 期	当 初	自		至	令和 8年 3月 19日		
		日 数					
	変 更			至			
経費適用年月	令和07年07月						
設 計	当 初 金 額			変 更 金 額			
	業務価格						
	消費税相当額						
	合計						
請 負	業務価格						
	消費税相当額						
	合計						
	請負増減額						
週休2日区分	-						

委 託 費 内 訳 書									
設計									
工事区分	工種	種別	細別・規格	数	量	単 位	単 価	金 額	摘 要
設計						式			
				1					
_ 現橋調査業務						式			
				1					
_ _ 直接人件費						式			
				1					
_ _ _ 現地踏査						式			
				1					
_ _ _ _ 現地踏査						業務			第1号一位代価表
				1					
_ _ _ 調査計画立案						式			
				1					
_ _ _ _ 調査計画立案						業務			第1号内訳書
				1					
_ _ _ 現橋調査						式			
				1					
_ _ _ _ 構造寸法計測（可視範囲）						橋			第2号内訳書
				1					
_ _ _ _ 基礎（フーチング）根入調査						橋			第3号内訳書
				1					
_ _ _ 壁石内部調査（壁石厚、内部材料）						橋			第4号内訳書
				1					

委 託 費 内 訳 書									
設計									
工事区分	工種	種別	細別・規格	数	量	単 位	単 価	金 額	摘 要
— — — —	目地材調査					橋			第5号内訳書
				1					
— — — —	舗装厚、床板厚調査					橋			第6号内訳書
				1					
— — —	調査結果の取りまとめ					式			
				1					
— — — —	調査結果の取りまとめ					業務			第7号内訳書
				1					
— — —	現橋復元図作成					式			
				1					
— — — —	現橋復元図作成					業務			第8号内訳書
				1					
— — —	関係機関協議資料作成					式			
				1					
— — — —	関係機関協議資料作成					機関			第2号一位代価表
				1					
— — —	打合せ協議					式			
				1					
— — — —	打合せ協議（中間2回）					業務			第3号一位代価表
				1					
— —	直接経費					式			
				1					

委 託 費 内 訳 書									
設計									
工事区分	工種	種別	細別・規格	数	量	単 位	単 価	金 額	摘 要
― ― ― 直接経費（積分）						式			
				1					
― ― ― ― 安全費						式			第9号内訳書
				1					
― 橋梁補修設計業務						式			
				1					
― ― 直接人件費						式			
				1					
― ― ― 設計計画						式			
				1					
― ― ― ― 設計計画						業務			第4号一位代価表
				1					
― ― ― 補修箇所の抽出						式			
				1					
― ― ― ― 補修箇所の抽出						業務			第10号内訳書
				1					
― ― ― 最適補修工法の比較検討						式			
				1					
― ― ― ― 最適補修工法の比較検討						業務			第11号内訳書
				1					
― ― ― 補修材料の選定						式			
				1					

委 託 費 内 訳 書									
設計									
工事区分	工種	種別	細別・規格	数	量	単 位	単 価	金 額	摘 要
— — — —	補修材料の選定					業務			第12号内訳書
				1					
— — —	土木遺産指定機関協議資料作成					式			
				1					
— — — —	土木遺産指定機関協議資料作成					機関			第13号内訳書
				1					
— — —	補修図面作成					式			
				1					
— — — —	補修図面作成					業務			第14号内訳書
				1					
— — —	補修数量算出					式			
				1					
— — — —	補修数量算出					業務			第15号内訳書
				1					
— — —	施工計画					式			
				1					
— — — —	施工計画					業務			第16号内訳書
				1					
— — —	概算工事費算出					式			
				1					
— — — —	概算工事費算出					業務			第17号内訳書
				1					

委 託 費 内 訳 書									
設計									
工事区分	工種	種別	細別・規格	数	量	単 位	単 価	金 額	摘 要
— — —	照査					式			
				1					
— — — —	照査					業務			第18号内訳書
				1					
— — —	報告書作成					式			
				1					
— — — —	報告書作成					業務			第19号内訳書
				1					
— — —	打合せ協議					式			
				1					
— — — —	打合せ協議（中間2回）					式			第20号内訳書
				1					
— 直接原価 費（率分）	直接経費	電子成果品作成				式			
				1					
— 直接原価 分）	直接経費	旅費交通費（率				式			
				1					
— その他原価						式			
				1					
間接原価						式			
				1					
一般管理費等						式			
				1					

委 託 費 内 訳 書													
設計													
工事区分	工種	種別	細別・規格	数	量	単	位	単	価	金	額	摘	要
業務価格（設計）						式							
				1									

委 託 費 内 訳 書									
工事区分	工種	種別	細別・規格	数	量	単 位	単 価	金 額	摘 要
業務価格計						式			
				1					
_ 消費税相当額						式			
				1					
業務委託費						式			
				1					

使用機械の機種・規格及び施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、受注者の責任において任意で定め施工すること。ただし、使用機械は、排出ガス対策、低騒音・低振動型建設機械を原則とし、機種や規格については、施工計画書等に明記すること。

第1号一位代価表(内訳書) 調査計画立案

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
主任技師		人			
技師(A)		人			
技師(B)		人			
合 計					

第2号一位代価表(内訳書) 構造寸法計測 (可視範囲)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
技師(B)		人			
技師(C)		人			
技術員		人			
諸雑費 (率・まるめ)		式			
	1				
合 計					

第3号一位代価表(内訳書) 基礎（フーチング）根入調査

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
技師(A)		人			
技師(C)		人			
諸雑費（率・まるめ）		式			
	1				
合 計					

第4号一位代価表(内訳書) 壁石内部調査（壁石厚、内部材料）

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
主任技師		人			
技師(B)		人			
技師(C)		人			
諸雑費（率・まるめ）		式			
	1				
合 計					

第5号一位代価表(内訳書) 目地材調査

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
主任技師		人			
技術員		人			
諸雑費（率・まるめ）		式			
	1				
合 計					

第6号一位代価表(内訳書) 舗装厚、床板厚調査

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
技師(A)		人			
技師(B)		人			
技師(C)		人			
常温合材		t			
	1				
タンパ及びランマ 質量 60～80kg		日			
ボーリングマシン[油圧式] 5.5kW級		日			
諸雑費(率・まるめ)		式			
	1				
合 計					

第7号一位代価表(内訳書) 調査結果の取りまとめ

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
技師(B)		人			
技師(C)		人			
技術員		人			
合 計					

第8号一位代価表(内訳書) 現橋復元図作成

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
技師(A)		人			
技師(B)		人			
技師(C)		人			
合 計					

第9号一位代価表(内訳書) 安全費

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
安全費（橋梁点検）		式			第1号施工表
市街地乙／都市近郊	1				
合 計					

第10号一位代価表(内訳書) 補修箇所抽出

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
主任技師		人			
技師(A)		人			
技師(C)		人			
合 計					

第11号一位代価表(内訳書) 最適補修工法の比較検討

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
主任技師		人			
技師(A)		人			
技師(B)		人			
技師(C)		人			
合 計					

第12号一位代価表(内訳書) 補修材料の選定

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
主任技師		人			
技師(B)		人			
合 計					

第13号一位代価表(内訳書) 土木遺産指定機関協議資料作成

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
主任技師		人			
技師(A)		人			
技師(B)		人			
合 計					

第14号一位代価表(内訳書) 補修図面作成

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
技師(B)		人			
技師(C)		人			
技術員		人			
合 計					

第15号一位代価表(内訳書) 補修数量算出

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
技師(C)		人			
技術員		人			
合 計					

第16号一位代価表(内訳書) 施工計画

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
主任技師		人			
技師(A)		人			
技師(B)		人			
合 計					

第17号一位代価表(内訳書) 概算工事費算出

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
技師(A)		人			
技師(B)		人			
合 計					

第18号一位代価表(内訳書) 照査

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
主任技師		人			
技師(A)		人			
合 計					

第19号一位代価表(内訳書) 報告書作成

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
技師(B)		人			
技師(C)		人			
技術員		人			
合 計					

第20号一位代価表(内訳書) 打合せ協議(中間2回)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
打合せ(土木設計業務) 中間打合せ回数 2 回		式			第2号施工表
	1				
合 計					

第1号一位代価表 現地踏査

1.000 業務 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
現地踏査 [橋梁予備設計]		業務			第3号施工表
	1				
合 計		業務			

第2号一位代価表

関係機関協議資料作成

10.000 機関 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
関係機関との協議資料作成		機関			第4号施工表
	10				
合 計		機関			
	(1		当り		

第3号一位代価表

打合せ協議（中間2回）

1.000 業務 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
打合せ（調査、計画業務） 中間打合せ回数 2 回		業務			第5号施工表
	1				
合 計		業務			

第4号一位代価表

設計計画

1.000 業務 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
主任技師		人			
技師(A)		人			
技師(B)		人			
合 計		業務			

第 0001 号 一位代価表(施工歩掛表) 安全費 (橋梁点検)

1.00 式 当り

(SD00295)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
安全費	1.000	式			
合 計	1	式	当り		

条件名称
J02 地域

入力名称
市街地乙／都市近郊

第 0002 号 一位代価表(施工歩掛表) 打合せ (土木設計業務)

1.00 式 当り

(SD01020)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
主任技師		人			
技師(A)		人			
技師(B)		人			
合 計	1	式	当り		

条件名称
J01 中間打合せ回数

入力名称
中間打合せ回数 2 回

第 0003 号 一位代価表(施工歩掛表) 現地踏査〔橋梁予備設計〕

1.00 業務 当り

(SD00534)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
主任技師		人			
技師(A)		人			
技師(B)		人			
技師(C)		人			
合 計	1	業務	当り		

第 0004 号 一位代価表(施工歩掛表) 関係機関との協議資料作成

10.00 機関 当り

(SD02030)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
技師(B)		人			
技師(C)		人			
技術員		人			
合 計	1	機関	当り		

第 0005 号 一位代価表(施工歩掛表) 打合せ(調査、計画業務)

1.00 業務 当り

(SD01030)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
主任技師		人			
技師(A)		人			
技師(B)		人			
合 計	1	業務	当り		

条件名称
J01 中間打合せ回数

入力名称
中間打合せ回数 2 回

積 算 条 件 一 覧 表

単価表番号	名 称 / 規 格	単 位	単 価	摘 要
第0001号施工表	安全費（橋梁点検） 市街地乙／都市近郊	式		SD00295
第0002号施工表	打合せ（土木設計業務） 中間打合せ回数 2 回	式		SD01020
第0003号施工表	現地踏査〔橋梁予備設計〕	業務		SD00534
第0004号施工表	関係機関との協議資料作成	機関		SD02030
第0005号施工表	打合せ（調査、計画業務） 中間打合せ回数 2 回	業務		SD01030

使用機械の機種・規格及び施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、請負者の責任において任意で定め施工すること。ただし、使用機械は、排出ガス対策、低騒音・低振動型建設機械を原則とし、機種や規格については、施工計画書等に明記すること。

業 務 委 託 特 記 仕 様 書

(趣旨)

第 1 条 この特記仕様書は、埼玉県設計業務共通仕様書に定めるもののほか、業務委託に関して必要な事項を定めるものとする。

(適用)

第 2 条 この特記仕様書は、次の業務委託に適用する。

1. 業 務 委 託 名 ----- めがね橋補修設計等業務委託
2. 委 託 場 所 ----- 春日部市八丁目地内
3. 路 線 名 ----- 市道 2－9 号線
4. 交 差 物 件 名 ----- 旧倉松落

(業務計画)

第 3 条 受注者は、業務の目的及び主旨を把握・理解したうえで、設計図書に示す業務内容を確認・整理し、適切な業務計画の立案を行い、これを監督員に提出してその承諾を得なければならない。業務計画を変更しようとする時も同様とする。

(業務委託項目)

第 4 条 本業務における業務委託項目は下記のとおりである。

A. 現橋調査業務	B. 補修設計業務
1. 現地踏査	1. 設計計画
2. 調査計画立案	2. 補修箇所の抽出
3. 現橋調査	3. 最適補修工法の比較検討
① 構造寸法計測（可視範囲）	4. 補修材料の選定
② 基礎（フーチング）根入調査	5. 土木遺産指定機関協議資料作成
③ 壁石内部調査（壁石厚, 内部材料）	6. 補修図面作成
④ 目地材調査	7. 補修数量算出
⑤ 舗装厚, 床版厚調査	8. 施工計画
4. 調査結果のとりまとめ	9. 概略工事費算出
5. 現橋復元図作成	10. 照査
6. 関係機関協議資料作成	11. 報告書作成
7. 打合せ協議	12. 打合せ協議

(配置技術者)

第 5 条 対象橋梁は、「土木学会選奨土木遺産 2005 年（社）土木学会」，「近代化産業遺産 2007 年 経済産業省」，「埼玉県指定文化財 2019 年 埼玉県」に認定された土木（文化）遺産である。管理技術者は、本業務の技術上の管理を行い、技術士（建設部門）または、R C C M（鋼構造及びコンクリート）を有する者とし、橋梁及びコンクリート構造物に精通すると同時に、道路

橋石橋に関しては、その築造方法や改修方法等、専門的見識を必要とするため、過去に土木遺産または文化財に指定された構造物の補修設計に携わった経験を有するものとする。

また、照査技術者は、業務報告書についての内容の妥当性の確認を行い、管理技術者と同等の要件を満たす者とする。

(現橋調査業務委託内容)

第6条 業務委託内容は、次のとおりとする。

本橋梁が土木遺産に指定された重要な建造物であることを十分理解し、今後想定される諸検討を行ううえで必要となる詳細な基礎資料を得ることを目的とした調査でなければならない。

(1) 現地踏査

架橋地点の現地踏査を行い、既存資料と現地の整合性を目視により確認をする。

あわせて、立地環境、交通状況、交通規制の方法等について現地の状況を調査記録するものとする。

(2) 調査計画立案

現地踏査にもとづき、土木遺産指定構造物に関する「実施計画書」を作成する。

実施計画書の作成にあたり、過年度実施済みの点検調書の他に「道路橋石橋の定期点検に関する参考資料」(石造アーチ橋) R5.3 道路橋石橋維持管理検討委員会も考慮するものとする。

また、調査、点検、診断技術者としてコンクリート診断士(公社)日本コンクリート工学会の有資格者を配置すること。

なお、現橋調査の着手前に埼玉県教育局文化財・博物館課に対し、現状変更の許可を受ける必要があり、その手続きに1ヶ月程度の期間を要することから、「実施計画書」は速やかに提出すること。

(3) 現橋調査

既設レンガ造アーチ橋の構造復元のための計測を行うと同時に、部材毎の適切な健全性の診断が行われるよう、レンガ造アーチ橋の構造や材料の特性、変状の特徴について情報収集を行う。レンガ造アーチ橋には、幅員拡幅のために主構造であるレンガ造アーチ橋の上部にコンクリート床版などで拡幅されたもの、また輪石、壁石や橋台などの変状をコンクリート等で補修補強したものもある。これら石材以外の部材については「道路橋定期点検要領(令和6年7月 国土交通省道路局)」を参照するものとする。

なお、アスファルト層の復旧には高耐久型の常温合材を用いて、十分に転圧を行い復旧し、不要となったコアについては春日部市役所 道路建設課に運搬するものとする。

(4) 調査結果のとりまとめ

構造寸法計測結果及び損傷箇所、損傷状況等を整理する。

レンガ造アーチ橋の状態の把握で重要なことは、アーチ機構の構造安全性に対し、影響が懸念されるアーチ・壁石面・輪石基礎・路面等の形状を捉えることであるため、石材間の開き(隙間)、破断(亀裂)、剥離、ひび割れ等がある場合でも、一様に変状の確認をし、ひび割れ等の位置・長さ・幅について変状図等を作成・記録するのではなく、アーチ機構の構造安全性に対して影響が懸念される変状と所見を残すものとする。

本橋のように文化財の指定をうけているものは、以後の措置を行う際に協議が必要となる場合がある。そのため文献調査及び現地調査で確認されたものは、記録様式に文化財指定とその指定機関等を記載するものとする。

(5) 現橋復元図作成

構造寸法計測結果をもとに、基礎を含む全体図を作成する。

レンガ造アーチ橋の全体形状把握のため、以下の3項目に対する形状を記録する。

- ① アーチ橋の路面形状
- ② アーチ橋の輪石のアーチ形状
- ③ アーチ橋の壁石面の形状

(6) 関係機関協議

河川協議、交通協議、住民説明、占用事業者及び埼玉県教育局文化財・博物館課等に対する説明に必要な協議資料の作成を行う。

※関係機関との協議において、監督員が必要と認める時は、打合せに立ち会うものとする。

(7) 打合せ協議

打合せ協議は計4回（現橋調査業務着手時、中間2回、完了時）行うことを基本とし、中間打合せは適宜必要に応じて行うものとする。

業務着手時及び完了時には、管理技術者が立会うものとする。また業務に関する打合せ記録の整理は、受注者が行うものとし、打合せ後速やかに提出するものとする。

(8) 安全管理

受注者は、交通状況に即した適切な保安施設を設けるなどして、安全管理に努めるものとする。本業務は起因して第三者に損害を与えた場合は、受注者の責任において措置するものとする。

(9) 土地の立入り等

点検業務を実施する際は、身分証明証を携帯すること。

身分証明書は、土地等の所有者、その他の関係人等から請求があったときは、これを提示すること。

身分証明書については委託契約業務であることの証明として発注者が交付する。業務が完了した等、身分証明書が不要となったときには、遅延なく発注者に返却すること。

(10) 沿道対応

本業務実施中、沿道の住民及び沿道利用者により苦情があった場合、受注者において丁寧に対応するものとし、その結果を監督員に報告するものとする。

（補修設計業務委託内容）

第7条 業務委託内容は次のとおりとする。

現橋調査の結果に基づく確認調査・補修設計を行い、補修工事に必要な設計図面、数量計算書、施工計画、工事仕様書等の設計図書の作成を行うことを目的とする。

(1) 設計計画

業務の目的、趣旨を把握したうえで、特記仕様書に示す業務内容を確認し、業務計画書を作成、提出する。

(2) 補修箇所の抽出

現橋の長寿命化及びアーチ機構の構造安全性を維持するうえで問題となる箇所の抽出を行う。

(3) 最適補修工法の比較検討

確認された損傷に対する最適な補修工法を土木遺産指定構造物であることに十分配慮し、決定する。

(4) 補修材料の選定

土木遺産指定構造物に対する補修材料については、既設石材、目地材等、使用材料に制限を受けるため、現橋調査によって得られた材料情報により十分な検討を加えるものとする。

(5) 土木遺産指定機関協議資料作成

現橋調査業務の成果及び補修箇所、補修工法、使用材料について、分かり易く取りまとめた協議資料を作成する。

※関係機関との協議において、監督員が必要と認める時は、打合せに立ち会うものとする。また、関係機関との協議によって、修正の必要が生じた際には速やかに修正を行う。

(6) 補修図面作成

補修工事に必要な、一般図、構造図、詳細図、仮設図等の作成を行う。

(7) 補修数量算出

決定した施工方法について、数量を詳細に計算し、取りまとめを行う。

(8) 施工計画

補修工事の内容、工法等の設計結果に基づき、構造物の規模、立地条件及び輸送、搬入条件等の各種条件を踏まえ、補修工事における工程計画、施工順序、施工方法、資材・部材の搬入搬出計画、交通規制計画、仮設計画等、工事積算に当たって必要な計画を記載した施工計画を作成する。

(9) 概算工事費算出

現地調査、各工法検討の結果及び数量計算を基に概算工事費を積算し、工事内訳書を作成する。概算工事費の算出にあたっては、埼玉県が発行する積算基準や単価、各種物価資料によることを基本とする。積算基準等のない工種、材料等がある場合は、積算根拠について資料（パンフレット、価格表、見積書、協会資料等）を添付し解説を記すこととする。

その際、見積りによる単価や歩掛を使用する場合は、3社以上から見積りを徴収すること。

(10) 照査

工法内容等の確認、現場状況が適切に設計に反映されているかを照査し、設計方針、補修工法選定・補修設計・施工計画・設計図・数量・概算工事費の適切性・整合性を照査する。

下記に示す事項の照査を行い、管理技術者に提出する。

- ア) 基本条件の決定に際し、現地の状況の他、基礎情報を収集し、把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査を行う。
- イ) 支障物件、周辺施設との近接や地形の状況等、施工条件が設計計画に反映されているかの照査を行う。
- ウ) 設計方針及び設計手法が適切であるかの照査を行う。
- エ) 設計計算、設計図、数量の的確性及び整合性に着目し照査を行う。
- オ) 仕様書の内容を全て満足しているかの照査を行う。

(11) 報告書作成

調査・設計業務の成果として、上記全ての事項について報告書を作成する。
報告書の作成にあたっては、簡潔で分かり易い表現となるように努める。

(12) 打合せ協議

打合せ協議は計４回（補修設計業務着手時、中間２回、完了時）行うことを基本とし、中間打合せは適宜必要に応じて行うものとする。
業務着手時及び成果品納入時には、管理技術者の立ち合いを要する。また業務に関する打合せ記録の整理は、受注者が行うものとし、打合せ後速やかに提出するものとする。

(貸与資料)

第８条 受注者は希望する場合、発注者から次の資料を借用することができる。

- ① 橋梁台帳の写し
- ② 過年度点検データ
- ③ その他業務履行上必要な発注者の所有する資料

(成果品の提出)

第９条 本委託の成果品は、下記の通りとする。ただし、成果品納入時に確認ができない一部の電子データの不具合について、成果品納入後であっても修正が必要となった場合は、受注者は直ちに修正し再提出するものとする

- ① 報告書 A4版 １部
- ② 図面 一式
- ③ 電子媒体（CD-R） ２部
 - ・電子データには、報告書のPDFデータ、オリジナルデータ（CAD, Excel 等）を記録する。
- ④ 打合せ記録簿 一式
- ⑤ その他、監督員が必要と認めたもの 一式

(その他)

第１０条 本特記仕様書に定めのない事項については、発注者と受注者での協議により定める。